

2022年3月8日

国立大学法人東北大学
総長 大野 英男 殿

国立大学法人東北大学職員組合
執行委員長 片山 知史

質問書

東北大学における人件費予算について

1. 部局配分額の5%を越える剰余金について

2021年11月25日に提出した質問「総長裁量経費の予算項目について」に対して、2021年12月23日に行われた団体交渉において、「教員人件費中央管理分」が、部局毎に配分した教員人件費予算の剰余額の人件費予算の5%を超えた額を中央管理分として総長裁量経費の一部としている、との説明があった。このことに関連して、以下の質問について回答を求める。

- ・部局配分額の5%を越える剰余金の合計金額を、なぜ予算段階で見積もることが可能なのか。
- ・物品費相当経費へも転用可能な予算を、なぜ部局は大量に余らせるのか。

2. 「その他職員人件費」と「一般職員人件費」の違いについて

また組合では、その内容を精査し、さらに総長裁量経費および人件費全体の仕組みについて、調査を行っているところである。その調査の一環として、運営費交付金の「その他職員人件費」と年度予算の「一般職員人件費」との違いについて知りたい。

2010年4月20日の部局長連絡会議での「平成22年度予算」についての報告文書の中に、次のような説明が図とともに添付されている。

平成22年度の運営費交付金は、臨時的減額として▲1.8%の減額がされた。仮に、第1期中期目標期間と同様な効率化係数▲1.0%の減額の場合は、「その他職員人件費」の減額想定額は▲83,424千円であったが、臨時的削減の▲1.8%の場合は削減額は▲150,162千円であった。

これらの削減想定額と削減額を、対応する係数で割ると、下記のように一致しており、この金額は、前年度の運営費交付金中の「その他職員人件費」の総額であると考えられる。

$$\begin{aligned} 0.83424/0:01 &= 83:424(\text{億円}) \\ 1.50162/0:018 &= 83:423(\text{億円}) \end{aligned}$$

一方、同日の同じ文書内の「平成22年度予算」の人件費の内訳として、一般職員人件費99億円が計上されている。

そこで、以下の質問について回答を求める。

- ・一般職員人件費には含まれ、その他職員人件費には含まれない人件費は何か？

以上、ご回答宜しくお願い致します。